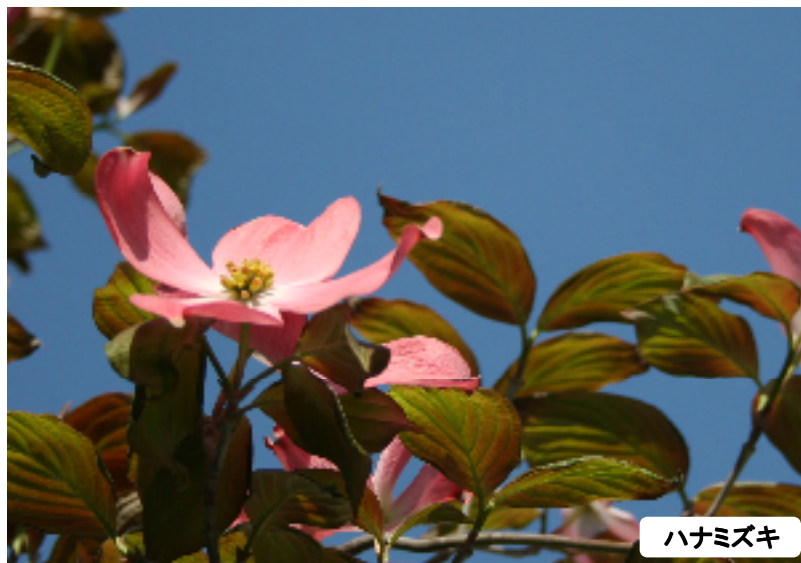


ロウバイ、ボケ、ウメ、モクレン、サクラ、ボタンと早春から色とりどりに咲き続けてきた構内の花木もハナミズキからバラへと変わり、花の季節から新緑の季節へと自然は移ろい、夏へと向っていきます。

今年は4月、5月と冬と初夏が同居する不安定な気候がつづいています。心地よい春という季節があまり感じられませんでした。

1日の寒暖の差が20℃を越える日もあり、熱中症で死亡の記事も見られました。季節は間違いなく、蒸し暑い夏へと進んでいきます。夏に向け体調を整え、現場では熱中症対策を十分に行ってください。事務所では、エアコンを適切に使用し、クールビズを実践し快適な環境での執務を心掛けましょう。



ハナミズキ



クールビズで快適に



環境省では、地球温暖化対策の一環として、平成17年度より、冷房時の室温28℃でも快適に過ごすことのできるライフスタイル「クールビズ」を推進しています。今年も節電の取組が必要とされていることから、「クールビズ」期間を5月1日から10月31日と発表。

クールビズが始まった当初は8.9月の2ヶ月だけでした。それが今では5月から、そして6月からはスーパークールビズがスタートします。やみくもに脱いだりネクタイを外せばいいというわけではなく、だらしく見えないように心掛けましょう。女性もシャツやブラウスで過ごせるので快適ですね。

クールビズを正しく理解し、実践しましょう。

- ・クールビズは快適なオフィスワークを実現するためのスタイル
- ・冷房を28℃設定＋軽装化で涼しくエコに過ごす取り組みです
- ・ノーネクタイやノージャケットでの仕事が推奨されています



ISO9001・14001 マネジメントレビュー

3月14日から行われた内部監査の結果を受けて4月18日マネジメントレビューが行われ社長より今後の取り組みについて提言がありました。

〈社長コメント〉

- 14001 車両燃料や電力の削減等は総量を視野に入れ全社的に活動が必要と思われる。工事毎に比較検討する事で改善に繋がるよう運用を行うことが肝要である。
- 9001 改善事由報告書の有効的な利用方法としてIT機能を活用し現在運用中のテラステーションを水平展開の場として利用出来ないか、検討する事。
いかに有効に活用するかを常に考え運用する事が重要で今後も継続適に運用して下さい。

〈レビューの結論〉

環境側面の抽出は日常業務の全てがそれに該当し、組織が活動するに当たり問題点が明確になる。問題点を年間改善活動計画書に落とし込み、問題を解決する為の行動を計画し実行する。計画書の評価は問題解決の良否を検証する役割であり、見直しの機会と捉え運用する事が有効性に繋がりスパイラルアップの継続的な運用となる。環境側面の変化に伴う見直しは改善の機会即ち改善提案の場となり、必ず見直しを実行する事が重要であり今後も側面の見直しを重点に運用を継続する。



今回でマネジメントレビューの実施回数は26回目を迎えたが、運用の目的は有効性を如何にシステムとして全社員、供給者に理解浸透させるかが重要で、ISOのため目標を立てるのではなくシブヤパイピング工業が進歩し発展するための目標を立て、システムを有効に活用して業務の改善に繋げるよう行動する事が大切である。

社長コメント、レビューの結論を今後の活動に生かしましょう！！